



～小学生だけの夏休み一泊二日フィールドワーク～ 「大江戸探検倶楽部」

2014年の夏休み。
都心を歩いて、江戸の文化や歴史を発見したり、大江戸の産業を体験。「ふるさと・東京」の魅力をさぐり、大江戸探検記を作成しました。



8月19日～20日早稲田地区を歩いて、江戸小紋そめもの体験



東西線早稲田駅前、10時に全員集合して、いざ、出発！！夏目漱石ゆかりの地から牛込氏、山鹿素行の墓がある宗参寺を巡り、禅宗庭園として有名な「鳳凰の池」のある済松寺では、都心に残された趣のある池を鑑賞。いよいよ、早稲田大学の構内に入り、ちょっと早い大学見学。坪内逍遙の銅像と握手をして、大学入学祈願をし



た人もいました。昼食後、大名屋敷跡に作られた回遊式庭園として有名な甘泉園を見学し、東京染め物博物館をめざしました。館長さんから、染物の歴史、工程の講義を受けた後、実際に、染物体験です。絹布に型をのせて、上から染料をのせるのですが、予想以上に強い力が必要でした。暑い一日でしたが、今まで、知らなかった世界をのぞくことが出来ました。また、BumBへの帰り道、街中を走る、都電荒川線の乗車体験をしました。

8月30日～31日徳川将軍家の菩提寺、増上寺周辺を探検して、江戸ちょうちん絵付け体験

港区役所がある芝公園駅からスタートです。丸山古墳、伊能忠敬測地遺功表を見学して、芝東照宮に参拝。家光将軍お手植えの大きなイチヨウの木を発見。増上寺では、本堂、安国殿と見学し、特別に徳川家墓所にも入りました。構内では、東日本最大の梵鐘といわれる大きな鐘楼堂には目を見張りました。増上寺食堂で昼食をとった後、ペリー像や遣米使節記念碑を見学し、大門をとおって、BumBへ帰りました。都心にある大きな寺には、多くの外国からの観光客が訪れていました。BumBでは、江戸ちょうちんに文字や絵付けの体験をしました。南千住で三代つづく江戸ちょうちんのマイスターである村田講師から、筆を使っての文字を書く指導を受け、各自が個性的なちょうちんを仕上げました。実際にローソクもつけられる自慢のちょうちんです。



夜の部は、例年通り、落語体験教室



三遊亭圓窓師匠、窓輝師匠、萬窓師匠から落語の醍醐味をクイズ形式で学びました。優しく、楽しく、手ぬぐいや扇子の使い方の手ほどきも受けました。大いに盛り上がり、アッハ！と、おなかをかかえてのひとときでした。



大江戸探検記をみんなの前で発表しました

翌日は、夢の島公園で新しい友達と早朝散歩を楽しみました。皆で、おにごっこ遊びをした後に、朝食で腹ごしらえ。いよいよ、探検記作成です。プレイリーダーや江戸東京ガイドの会の講師、日本写真協会の方々には助けられながら、各自が探検記をまとめ、仕上げは、お迎えの保護者の前で、堂々と発表ができました。新しい友達と過ごした夏休み。最高の思い出が出来ました。

